

事業報告書

1 事業の名称

「和紙ちぎり絵で日中交流・友好の架け橋に」

2 実施時期及び期間

平成27年10月24日(土)～平成27年11月4日(水) (12日間)

3 実施場所

中国	黄山学院 美術学院	大学生 55 名	安徽省	黄山市
	安徽師範大学 美術学院	大学生 60 名	安徽省	蕪湖市
	江漢大学 美術学院	大学生 65 名	湖北省	武漢市
	武漢商学院 美術学院	大学生 65 名	湖北省	武漢市
	重慶市暨華中学	中高生 65 名		重慶直轄市
	重慶師範大学 美術学院	大学生 65 名		重慶直轄市
	四川師範大学 美術学院	大学生 65 名	四川省	成都市
	四川理工大学 美術学院	大学生 65 名	四川省	自貢市

4 実施団体及び派遣者数

特定非営利活動法人虹橋の会 和紙ちぎり絵講師ら 4 名

5 補助・助成団体

- ・公益財団法人 広島平和文化センター
- ・公益財団法人 東華教育文化交流財団
- ・広島県日中親善協会

6 事業の目的

- (1) 無形文化遺産の和紙とそれを使って作ったちぎり絵を紙の発祥地の中国各地へ広める活動を通し、日中互いの文化を尊重し学びあう精神の育成を図る。
- (2) 和紙ちぎり絵を伝えるや学校訪問及び「ヒロシマを世界に」等を通じて、両国民の友情を結び、民間交流、友好と平和を守る大切さや相互の理解を深める。
- (3) 広島市の姉妹都市重慶市との友好関係を深める。来年、「第3回日中和紙ちぎり絵展—広島市・重慶市友好提携30周年記念展」には、沢山の中国人から出品していただく。
- (4) 今後日本で、和紙ちぎり絵などの日中交流展示会を行い、芸術が国境を超え、両国を結びつけることを伝える。

7 実施内容

- (1) 中国へ和紙ちぎり絵を広める活動として、6都市8箇所のおよそ500人に和紙を紹介し、和紙ちぎり絵の作り方を指導した。
- (2) 広島市と友好関係にある重慶市では、重慶市人民対外友好協会の幹部の方に広島市長の友好交流のメッセージを贈り、重慶市長からのメッセージをいただいた。

- (3) 広島県と友好関係がある四川省の成都市では、広島県日中親善協会の方々とともに、四川省人民対外友好協会をはじめとした成都市の方々との友好交流の夕べに参加した。
- (4) 訪問した各大学・中学校で、(公財)広島平和文化センターからもらった「ヒロシマを世界に」の本を見てもらい、学校の幹部たちと和紙ちぎり絵を介した芸術交流の推進及び平和友好に関する意見交換を行った。
- (5) 各大学等へ和紙ちぎり絵の作品、教材のセットを寄附した、そして、他の和風の美術品(切り絵、くるみ絵、折り紙建築)と手作りの小物も贈って、交流を深めた。

8 実施効果

- (1) 訪問した各学校、美術専攻の大学生、美術教師、中高生など幅広い人たちに、日本独特の伝統文化の和紙ちぎり絵が一つの芸術として受け入れられた。
- (2) 3回目の今回も和紙ちぎり絵の広めを通して、中国の若い人々と楽しく語り、日中両国の平和友好交流を進めることが出来た。今後もちぎり絵交流を継続し、日本での和紙ちぎり絵展に参加していただくことを確認した。
- (3) 四川師範大学(成都市)、重慶市暨華中学校の幹部から、広島大学など学校との交流も切望されていて、そのような学校をぜひ見つけてくださいとの依頼も受けた。
- (4) 広島市との友好都市である重慶市では、両市長のメッセージを交換したことを通じて、来年の友好都市提携30周年に向けて両市の交流をさらに深める契機になったと考え、私達のような民間交流が重要であることを再確認できた。
- (5) (公財)広島平和文化センターに依頼され、持参した広島に落とされた原爆の惨状を紹介した「ヒロシマを世界に」という本を見ていただき、また広島にある2つの世界遺産の写真やパンフレットからも日本への関心の高さが伺え、広島を知ってもらう良い機会になった。

以上